

ファイナル・レポート

(日本語抄訳版)



2026年1月27日

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

boot 2026: デュッセルドルフの展示ホールに広がる好調な販売ムード、 最高の雰囲気、国際的なフィーリング

9日間にわたって開催された boot 2026 は日曜日に閉幕し、デュッセルドルフの展示ホールには終始、非常に活気ある雰囲気が漂っていました。

メッセ・デュッセルドルフの COO、マリウス・ベルレマン (Marius Berlemann) は次のように述べています。「販売が低迷していたここ数年の厳しい時期を経て、出展者は完全に軌道に戻りました。各ブースからは非常に質の高い商談やビジネスの成約があったと報告されています。boot 2026 は、業界の国際的なハブであり、推進力であるという姿を改めて示しました。」

来場者の多様性と、業界関係者（トレードビジター）の比率の高さが、boot をマリン業界をけん引する展示会たらしめています。ベルレマンはさらに次のように付け加えています。「boot 2026 は、力強い触媒であり、国際的な業界の交流の場であり、そして感情を揺さぶるハイライトとして幕を閉じました。ビジネスはここデュッセルドルフで成立するのです！」

今年の boot には、110か国以上から20万人を超える来場者が訪れ、来場者数は前年をわずかに上回りました。特に注目すべきは、海外からの来場者の数です。来場者の約 4 分の 1 が、ヨーロッパ諸国や海外からデュッセルドルフを訪れました。また、来場者満足度も非常に高く、約 95%が展示内容に満足し、来場目的を達成できたと回答しています。セーリングボート分野への関心も大きく高まり、25 のクラス協会をはじめ、多くの関係者が参加しました。

あらゆるクラス・サイズのモーター、エンジン、アクセサリーへの需要も非常に高く、多数のボートがデュッセルドルフで初披露されました。さらに技術革新、新製品も発表され、業界の力強さを示しました。

ボート本体への関心に加え、パドリングやサーフィンなどのウォータースポーツ、水辺や水上での休暇に関する情報やプレゼンテーションも特に人気を集めました。

また多くの愛好家にとって、ウォータースポーツは海洋環境や自然保護と密接に結びついています。ホール 10 で開催された boot 持続可能性フォーラム「ブルー・イノベーション・ドック (bid)」は、ブリュッセルに拠点を置く欧州ボーティング産業協会 (EBI) の協力のもと、持続可能で革新的かつ競争力のある海洋経済の未来への道を切り拓いています。

boot 2026 は国際メディアからも大きな注目を集めました。49 か国から 1,810 人のジャーナリストおよびコンテンツクリエイターが、世界最大のウォータースポーツ展について、各種メディアやテレビチャンネルで報道しました。

合計で 68 か国から約 1,500 のメーカー、ディーラー、デスティネーションが出展しました。

次回の boot Düsseldorf は 2027 年 1 月 23-31 日に開催予定です。

boot 2026 のファイナル・レポート（オリジナル、英語）は [こちら](#) からご覧ください。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン 担当：トリグティス／富田

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1

ニューオータニ ガーデンコート 7F

TEL: 03-5210-9951 Mail: mdj@messe-dus.co.jp



© Messe Düsseldorf / C. Tillmann